



いわさき明子の議会報告



第 1 回定例会ダイジェスト

28 年度一般会計予算 4004 億円は過去最大規模

千葉市の 28 年度一般会計予算は、4004 億円。保育園の整備など子どもを産み育てやすい環境づくりや、特別養護老人ホームへの助成など高齢者が健康で心豊かに暮らせる社会を創る施策、海辺の活性化など千葉市の特性を活かしたまちづくりの推進に資する施策、地域経済の活性化に資する施策、さらに区役所窓口改革の推進等について重点的に配分されました。

しかしその一方で、138 億円の収支不足が見込まれたため、市税等を確保することともに、市有資産の売却 11 億円、退職手当債の発行 17 億円、市債管理基金からの借入れ 15 億円、財政調整基金の取り崩し 20 億円など、あらゆる財源対策を講じて不足を補っています。財政健全化に向けてはまだ予断を許さない状況です。



空き家及び空き店舗を地域の居場所に！

近隣に空き家や空き店舗が目立つようになった、と感じることはありませんか。今回は市民ネットワークの空き家プロジェクトメンバーと一緒に、先進的事業を行っている世田谷区などで空き家活用事例を視察。その結果をもとに一般質問を行いました。

例えばコミュニティカフェや子ども食堂など、地域の居場所を作りたい市民団体がその場所を活用できれば、空き家問題の解決と街の活性化ができて一石二鳥です。市内空き家の実態をきちんと把握すること、地域利用を促すための所有者への啓発を行うこと、また、世田谷区にあるような「空き家等で地域貢献相談窓口」

を開設すること、空き家等問題について民間、大学なども連携することなどを市に要望しました。



こめこめ庵入り口。東急世田谷駅近くの、米村よね子さんの自宅を開放して、大勢で囲む昼食は食も進み、話も弾みます。



食事の後はリフレクソロジーなどのお楽しみも。いろいろな方とつながりも出来て、週 1 回の集まりが待ち遠しいと、参加者の男性は嬉しそうにお話されていました。

入札制度は透明性を確保して

去る 1 月 7 日、官製談合防止法違反と公契約関係競争入札妨害の疑いで、千葉市職員と下水道コンサルタント会社社員が逮捕されたことは、入札制度に対する市民の信頼を損なう残念な出来事でした。

再発防止のため、「建設局職員不祥事防止委員会」で協議を始めたほか、職員が注意すべき事項を記した「コンプライアンスチェックシート」を掲示する等の取り組みが始まっています。

このような事件を職員個人の倫理観の問題とするのは簡単ですが、職員がそうせざるを得ないような、組織の構造的な問題はなかったのか、検証することも必要です。公務員倫理の研修を急ぎ行うことと同時に、不祥事防止委員会が時間をかけて協議することを求めました。

(注)法令遵守の意味だが社内規定やマニュアルなどの遵守も含む

指定廃棄物の行方は市民にしっかりと説明を

3 月 17 日環境省は千葉県内の指定廃棄物保管自治体に対し、「指定解除」の仕組みを説明しました。千葉市が美浜区の新港清掃工場で一時的に保管している 7.7 トンの指定廃棄物の放射能濃度は、すでに 8,000 Bq/kg 以下と推定されることから、今後はその指定解除に向け、環境省と協議が行われる見込みです。指定解除後は安易に一般廃棄物として処理することのないよう、市民が納得する形で処分を行うよう要望しました。また、いまだ千葉市が長期管理施設建設候補地であることから、候補地選定をやり直すよう国に対し要望することを強く求めました。

新港清掃工場の指定廃棄物

7.7 トンの指定廃棄物が、ブルーシートをかけられて、清掃工場の一角に一時的に保管されています。放射能濃度が基準以下になっても、放射性物質がゼロになったわけではありません。市民に健康被害が無いような処理が必須です。

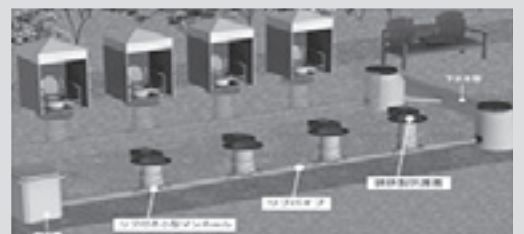


28 年度はこのような事業にも予算がつきました

- ・地震被害想定調査と地震ハザードマップの作成
- ・在宅医療介護についての資源調査
- ・小中学生向け介護普及啓発研修
- ・男性不妊治療の助成拡大
- ・病児・病後児保育施設の増設
- ・児童養護施設退所児童アフターケア
- ・谷津田の保全推進(3ヘクタール保全地域を増やす)
- ・放課後子ども教室推進(総合コーディネーター・外部講師の配置)
- ・区役所ワンストップ窓口の開設
- ・防災備蓄品の充実とマンホールトイレの増設



マンホールトイレのふた



マンホールの上に仮設トイレを組み立てる